



2歳になったら入園準備クラス

幼稚園入園(3歳)前の2歳児保育で入園へスムーズに繋がります

満3歳児として入園できるまでの期間、遊びを中心とした2歳児に合った保育を取り入れて活動し、お子様ひとりひとりの育ちを大切にします。

活動内容 運動遊び、リズム遊びなど、年齢に合わせた保育活動

対 象 令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれのお子様

保育時間 9:30～14:30 ※初めは慣らし保育あり

利 用 料 月額 5,000円 (その他、絵本代、給食費が必要です)



たくましく生き抜く力を育む
認定こども園 八千把こども園

〒866-0894 熊本県八代市上野町1268-2
幼児部 TEL: 0965-35-7715

園公式HP



公式Instagram



たくましく生き抜く力を育む

認定こども園 八千把こども園

ごあいさつ

私は長年、器械体操の競技生活を続け、大学卒業後は幼児から大学生までの指導に携わっています。器械体操は「できた！」の成功体験で得られる感動が最大の魅力であり、それは幼児が様々なことを経験し学びを獲得していく過程に共通するものがあります。その経験から、乳幼児期にはよく体を動かし、よく遊び、よく食べ、よく寝ることで心身ともに健やかに育つことが何よりも大切と考えます。園生活では約240日ほどの多くの時間を共に過ごします。安心して過ごす場に自分の居場所を見つけ、「できた！」という成功体験の積み重ねが自立心と意欲を育み、これから社会を「たくましく生き抜く力」につながると信じています。



園長 鶴丸裕之

もくじ

● ご挨拶	1
● 教育目標	2
● 心を育む 仏教保育	3
● 体を育む 体育遊び	4
● 思考力を育む 漢字教育	5
● 育ちの要素	6
● 行事について	7
● 季節を味わう	8
● 園での生活	9
● 子育て支援	10
● 入園の流れ	11
● 園の概要	12

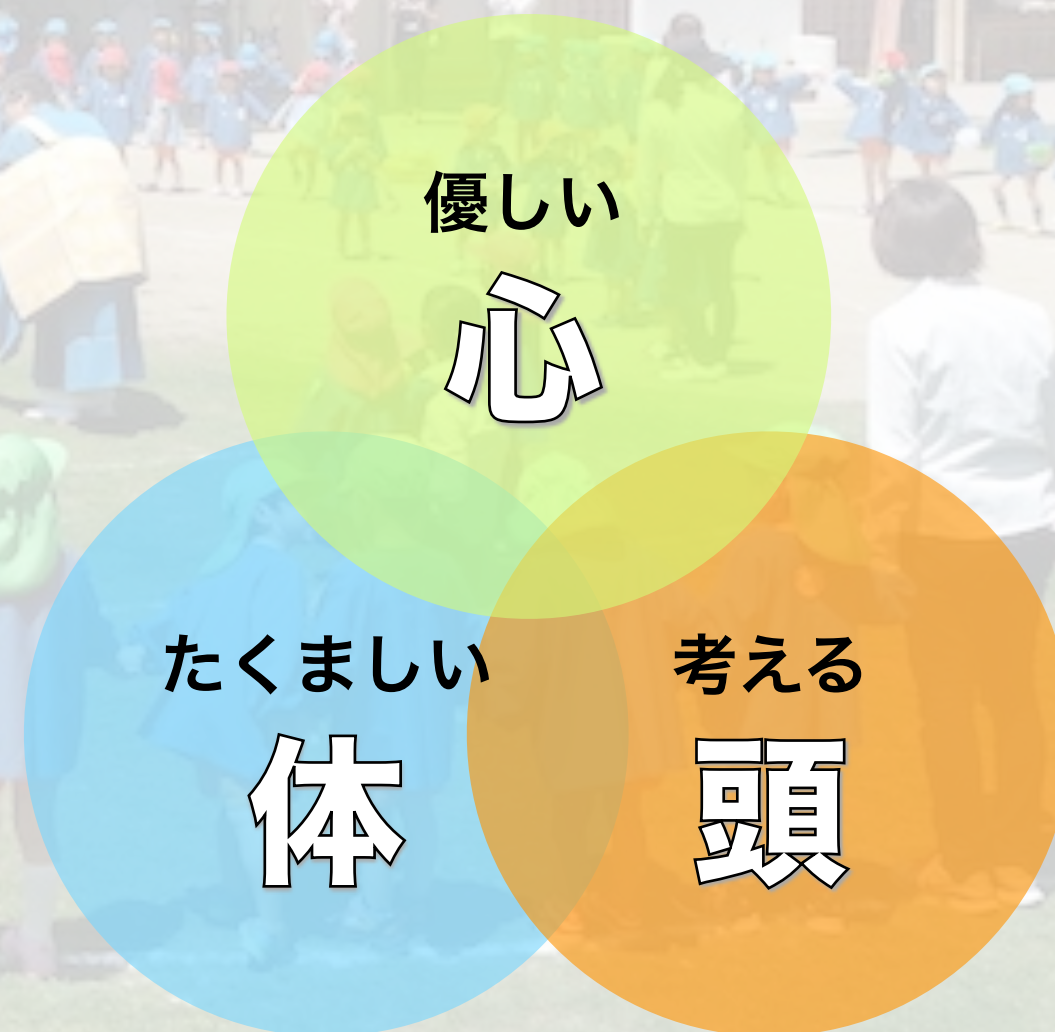
生涯にわたる『生きる力』の基礎を育む

人は本来、生活の中でいろいろな体験を通して学び成長していきます。
特に、乳幼児期の子ども達はすべてのことが新しい体験ばかりで、
その体験が多いこと、つまり生活が豊かであることが
子どもの心身の健やかな成長にとって望ましいと言えるでしょう。

その意味で一日のかなりの時間を過ごす園生活を
豊かなものとすることは、園の責務であると考えております。
人の成長する過程で乳幼児期は人格形成の基礎が作られる大切な時期で、
この時期でないと育たないものがあります。

そのことを常に念頭に置きながら、心身の健やかな成長と
生涯にわたる生きる力の基礎を育んでいきます。

生きる力を育む3つの要素



心

心を育む 仏教保育

私たちはいつも仏様に見守られています。
ものが溢れている今の時代、
仏様の教えにふれることで、
思いやりの気持ちと優しい心をもった子どもに
育て欲しいと願っています。



命を大切にする『生命尊重』

目に見えない、説明しにくい、でも最も伝えたいことが命の大切さです。私たちが仏様の御心に沿って子ども達へたくさんの語り掛けを行うことや、子ども達が自ら他の生き物との関わりの体験を通すことで、自分の命や周りの命をもった存在に気づかされます。その体験から得られる「気づき」こそが生命尊重への第一歩と考えています。みんな一緒に生きていることを知って欲しいと願っています。



体を育む 体育遊び

体

心と体の理想的な成長バランスは「日常の遊び」の中にこそ潜んでいます。友達と遊びに熱中し、手にがんばりまめを作って遊ぶたくましい子ども。転んでも手がつけて、すぐに立ち上げられる子ども。自分でやりたいことを見つけられる子ども。友達と精一杯汗を流し楽しみを共感できる子ども。健康な体は健全な心を育みます。



楽しいからこそ熱中し、自ら育つ

何度も何度も挑戦して達成したとき。達成した後、繰り返してその満足感を味わっているとき。夢中になる手のひらには「がんばりまめ」が生まれます。子ども達が本当に夢中になっているかどうかは、手のひらをみれば分かります。子ども達は、嫌なことやつまらないことには決して繰り返して遊びません。「がんばりまめ」が育ったとき、心と体はたくましく成長しています。



思考力を育む 漢字教育

美しい言葉は美しい心を育てます。言葉を一番吸収する大切な時期にこそ、漢字かな交じりの日本語表記の言葉にふれさせ、たくさんの言葉が身近にある環境の中で育った子どもたちは語彙を増やし、文字への関心が高くなります。たくさんの文字、言葉を蓄えた子どもは豊かな思考力を育みます。



躰の三原則「あいさつ・返事・履き物を揃える」

幼児期に培っておきたいもの。それは、調和のとれた人格の土台となる優しい心、自立心、そして日本人としての心です。自立心は躰で養われます。「立腰(りつよう)」をはじめとする躰教育によって、子ども達は心と身体を整える力を身につけます。「三つ子の魂百まで」と言われるように、幼児期からの正しい積み重ねを続けることで、子どもの品格は自ずと育まれていきます。



園には「育ち」の要素が満載！



健康な心と体

園生活を通して規則正しい生活リズムが身につく、自ら進んで体を動かしたくなる運動環境と充実した保育体験は健康な心と体を育みます。



自分でやろうとする自立心

子どもが自分でできることは、子ども自身にやらせます。一日一日の小さな成功体験の積み重ねが自立心を育みます。



共感で育む協同性

友達との関わりを通して、互いの想いや考えなどを分かち合い、活動の中から協力したり工夫したりする楽しさや充実感を味わいます。



社会生活との関わり

家族、友達、先生、地域の人々、いろいろな人と関わることで相手の気持ちを考え、自分が役に立つ喜びを感じ、社会とのつながりを意識するようになります。



自然との関わり・生命尊重

緑が多く自然豊かな環境は子どもの好奇心や探究心を高めます。身近な動植物との触れ合いを通して命を大切にする心が育ちます。



豊かな感性と表現

豊かな体験活動を通して、友達同士で表現する過程を楽しんだり表現する喜びを味わい、挑戦しようとする意欲が高まります。

ひとりひとりの輝く瞬間がここにあります

意欲を大きく育てる

子どもにとって**行事**は特別な舞台です。
ひとりひとりが主役になれる瞬間がここにあります。
行事に向けて取り組む過程では、
友達と協力したり相手を思いやる心が育ち、
やり遂げた時の表情は達成感に満ち溢れています。
そして、次に挑戦しようとする意欲が湧いてきます。
行事を経験してお子様が成長していく姿は、
お父様、お母様の一生の宝物です。



春



夏



四季を味わう

日本の伝統文化の中で幸せに生きる

日本には変化に富んだ美しい**四季**があります。
春には春の過ごし方があるように、
夏、秋、冬、それぞれの過ごし方が
伝統と文化として今に伝えられています。
園では季節の行事や食文化、音楽、
地域の伝統行事に触れることで季節感を身につけ、
日本人として大切な心を育てます。
親から子へ、子から孫へ・・・今の子ども達が将来
次の代へ伝えていけることを願っています。



秋



冬



園での生活



園生活の醍醐味は何と言っても
多くの子ども同士で**育ち合える**ことです。

安心して過ごせる環境の中で
遊びを中心とした活動を通して様々な学びを獲得していきます。
大好きな友達に囲まれて、充実した1日を過ごします。



8:30~

登園「おはようございます！」

- 朝の視診・持ち物の片付け・排泄
- 自由あそび



9:30

朝の運動あそび

- かけっこ、鬼ごっこ、リレー
- 鉄棒、うんてい、平均台



10:00

朝の会

- 歌、リズムあそび、出欠確認
- 一日の流れのお話



10:30

日課

- 立腰、漢字遊び
- 百玉そろばん



11:00

主活動

- 季節の遊び、制作活動、散歩など



12:00

昼食「いただきます」

- お当番活動、食事
- ご馳走様、片付け、掃除



13:00

歯磨き、うがい、排泄
自由あそび



13:45

降園準備

- 片付け、排泄、帰りの支度



14:10

帰りの会

- 手遊び、絵本の読み聞かせ
- 一日の振り返り、お帰りの歌

14:30~15:00

順次降園

通園バス運行



15:00

預かり保育

- おやつ
- 自由あそび



17:30

預かり保育終了

<幼児部 1号認定>
2歳~5歳

7:00

7:30

開園、通園バス運行開始

8:00

順次登園
自由遊び

9:00

片付け

9:30

朝の運動あそび

10:00

朝の会

漢字遊び、百玉そろばん

11:00

主活動

12:00

お昼ご飯(給食)

13:00

自由あそび

片付け

14:00

降園準備、帰りの会

降園、通園バス運行

15:00

16:00

預かり保育
(15:00におやつ)

17:00

17:30

18:00

閉園

19:00

充実した子育て支援

教育をしっかり受けながら
安心して働くことができる環境



お子様の教育環境の充実はもちろん、多様化するニーズに
寄り添ったご家庭の**支援**を積極的に進めます。
八千把こども園の1号認定（幼稚園）では教育を受けながら
仕事と子育てを両立できる新しい時代のかたちを目指します。

1 通園バス送迎があります



バスの詳細はこちら

1号認定（幼稚園）限定で登降園時の送迎バスを利用することができます。徹底した安全管理の下、専属の運転手と添乗職員がご自宅付近までお迎えします。園と家庭をつなぐ、子ども達の大好きなバスの時間です。



2 預かり保育で安心して働けます

平日 15:00～17:30 冬休み・春休み 8:00～17:30

教育時間の終了後に、希望者を対象とした預かり保育を実施します。お仕事はもちろん、急な用事等でも気軽に利用することができます。おやつを食べてお迎えを待つまでの間、異年齢のお友達同士で仲良く楽しく過ごします。



3 夏休みも通常保育です



4月から3月まで多くの時間を過ごす園生活。切れ目のない教育と育ちの場を保障するために、学校が夏休みに入る8月も通常保育を行います。もちろん、給食も通園バス送迎も通常通り提供します。コロナ禍、園で過ごす時間がいかに貴重であるか再認識した経験から、水遊びを中心に楽しく保育を行います。

4 入園前から子育てをサポート



LINEお友達登録で子育て支援情報をお届けします

お楽しみ広場 毎週火曜日
子育て広場 毎週木曜日

安全で清潔な新築の施設で入園前のお子様を対象に子育て支援を展開しています。プチ幼稚園体験をはじめ保護者交流、子育て相談、入園相談など、子育てに関する疑問や不安に対しても一緒に向き合って解決していきます。



5 卒園後は学童保育で安心

学童保育については
こちらから→



小学1年生～3年生を対象とした学童保育を併設しています。卒園した後もご家庭の支援をしていきます。慣れた環境で過ごせる安心感はもちろん、隣接する八千把小学校から徒歩2分の距離も大きな安心のひとつです。



入園の流れ



- 9月 園児募集開始
- 10月 見学・入園説明会
- 10月 入園願書受付開始（先着順）
- 11月 入園内定通知送付
- 12月
- 1月 新年のごあいさつ
- 2月
- 3月 一日入園（入園前説明会）
- 4月 入園式
- 4月 慣らし保育

入園願書受付開始
 日にち：令和6年10月1日(火)
 時 間：7:30～17:30
 場 所：幼児部棟玄関
 提出物：入園願書、申込料
 受付方法：直接持参
 問合せ：0965-35-7715

お子様の入園にあたり必要な準備物などをお伝えし、保護者の心配事を少しでも和らげることを目的としています。その他、用品の注文、園児の健康診断も行います。

この度は、当園にご興味を持っていただき有り難うございます。施設の見学について、随時受付・ご案内しております。お気軽にどうぞ。

令和7年度の入園申込は、**令和6年10月1日(火)**から受付開始です。

是非、当園にお申し込み下さい。

皆様との良きご縁を職員一同、心よりお待ちしております。



建学の理念

創立者 土生重正は戦後の日本の状況を目の当たりにし
 これからの日本を復興するためには
 子どもの教育が何よりも大切であると強く考え
 「地域に、心も体もつよい子・よい子に育つ園」の理念を掲げて
 八千把の地に保育園と幼稚園を創立しました
 「つよい子」には逞しさ、やり抜く力・・・
 「よい子」には優しさ、自信・・・
 子どもの成長を願う人の様々な、沢山の思いが包み込まれた言葉として
 今もその思いを大切にしています

八千把こども園概要

設置主体	社会福祉法人 八千把福祉会
名 称	八千把こども園
代 表	理事長（園長） 鶴丸 裕之
利用定員	165名（内訳：1号認定 75名・2号認定 51名・3号認定 39名）
所在地	〒866-0894 熊本県八代市上野町1268-2
T E L	幼児部 0965-35-7715 保育部 0965-35-7725
開園時間	7:00～19:00
休 日	日曜日・祝日、年末年始
対象年齢	1号認定（幼児部） … 満3歳～5歳 ※教育認定 2号認定（保育部） … 3歳～5歳 ※保育認定 3号認定（保育部） … 0歳～2歳 ※保育認定
利用時間	教育標準時間利用 9:30～14:30（延長保育17:30まで） 保育短時間利用 8:30～16:30（延長保育19:00まで） 保育標準時間利用 7:00～18:00（延長保育19:00まで）
沿革	昭和26年4月 八千把保育園を設立 昭和44年4月 八千把幼稚園を設立 平成31年4月 認定こども園八千把こども園へ事業を統合

